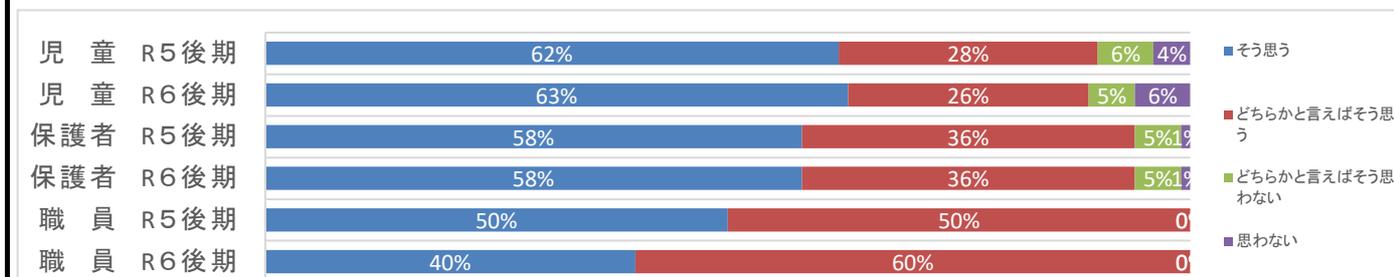


令和6年度 鷹岡小学校 学校評価まとめ

1 生活について

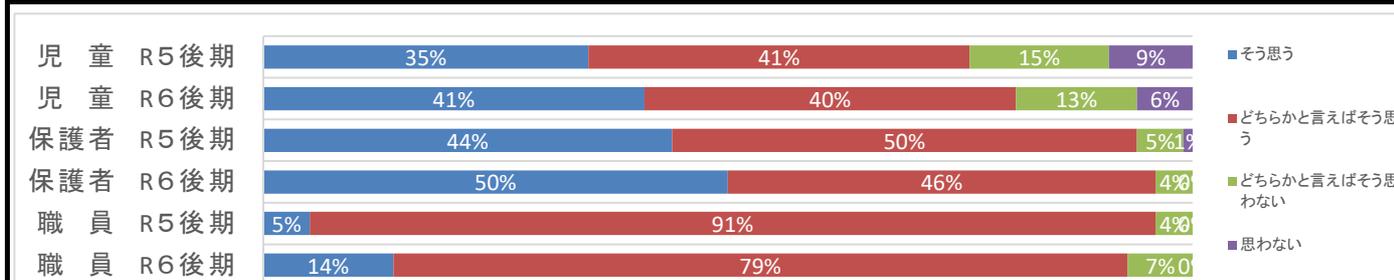
①【保護者】【職員】子供は、学校に楽しく通っている。
【児童】学校は楽しい。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	思わない
児童 R5後期	62%	28%	6%	4%
児童 R6後期	63%	26%	5%	6%
保護者 R5後期	58%	36%	5%	1%
保護者 R6後期	58%	36%	5%	1%
職員 R5後期	50%	50%	0%	0%
職員 R6後期	40%	60%	0%	0%



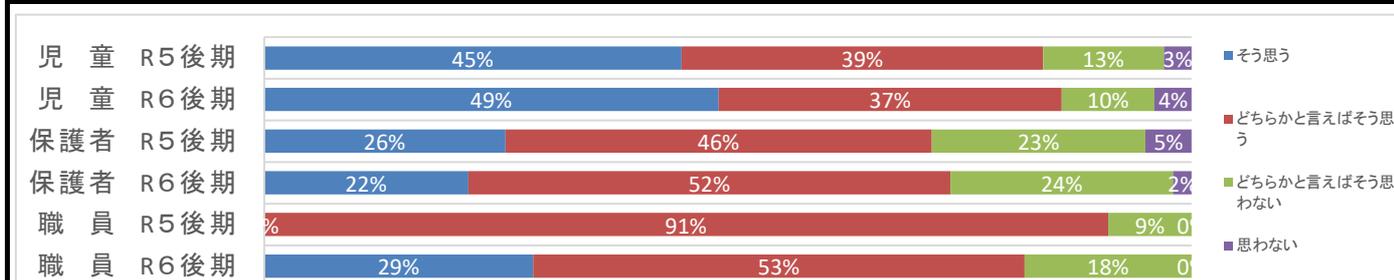
②【保護者】【職員】子供は、自分にはよいところがあると思っている。
【児童】自分にはよいところがあると思う。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	思わない
児童 R5後期	35%	41%	15%	9%
児童 R6後期	41%	40%	13%	6%
保護者 R5後期	44%	50%	5%	1%
保護者 R6後期	50%	46%	4%	0%
職員 R5後期	5%	91%	4%	0%
職員 R6後期	14%	79%	7%	0%



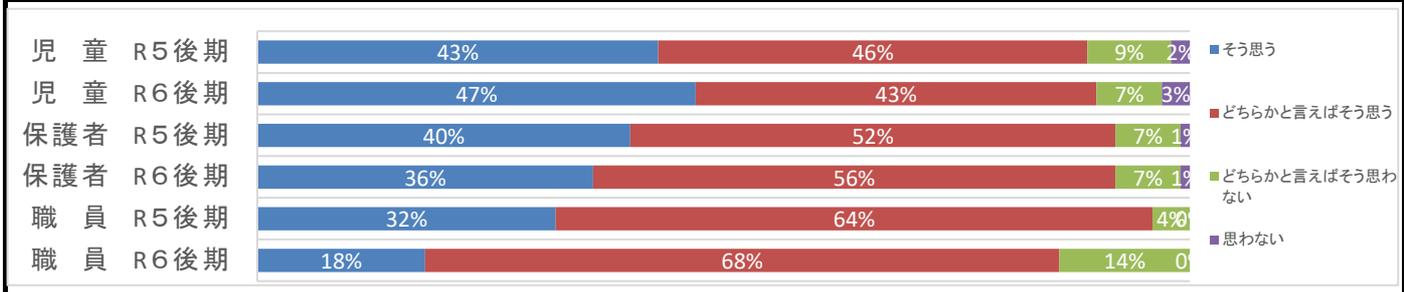
③【保護者】【職員】子供は、普段から進んで勉強や運動をしようとしている。
【児童】進んで勉強や運動をしている。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	思わない
児童 R5後期	45%	39%	13%	3%
児童 R6後期	49%	37%	10%	4%
保護者 R5後期	26%	46%	23%	5%
保護者 R6後期	22%	52%	24%	2%
職員 R5後期	0%	91%	9%	0%
職員 R6後期	29%	53%	18%	0%



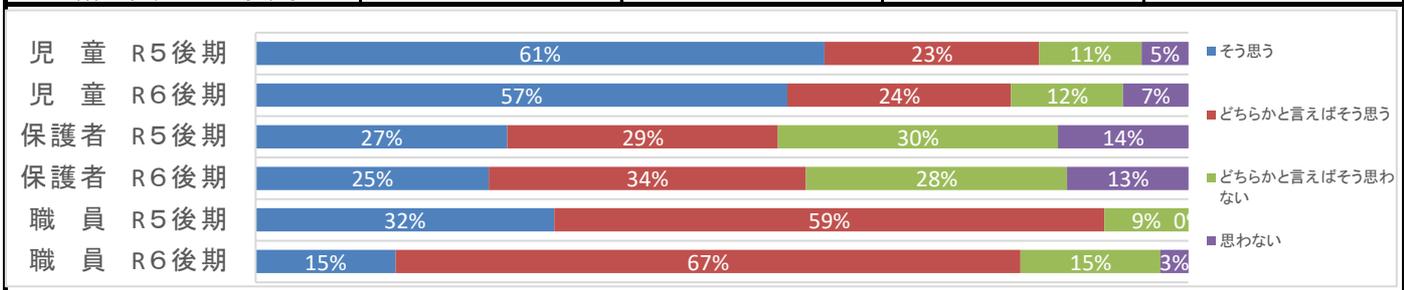
④【保護者】【職員】子供は、友達の思いを受け止めたり、優しく声を掛けたりすることができる。
 【児童】友達の気持ちを聞いたり、優しく言葉を掛けたりすることができる。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	思わない
児童 R5後期	43%	46%	9%	2%
児童 R6後期	47%	43%	7%	3%
保護者 R5後期	40%	52%	7%	1%
保護者 R6後期	36%	56%	7%	1%
職員 R5後期	32%	64%	4%	0%
職員 R6後期	18%	68%	14%	0%



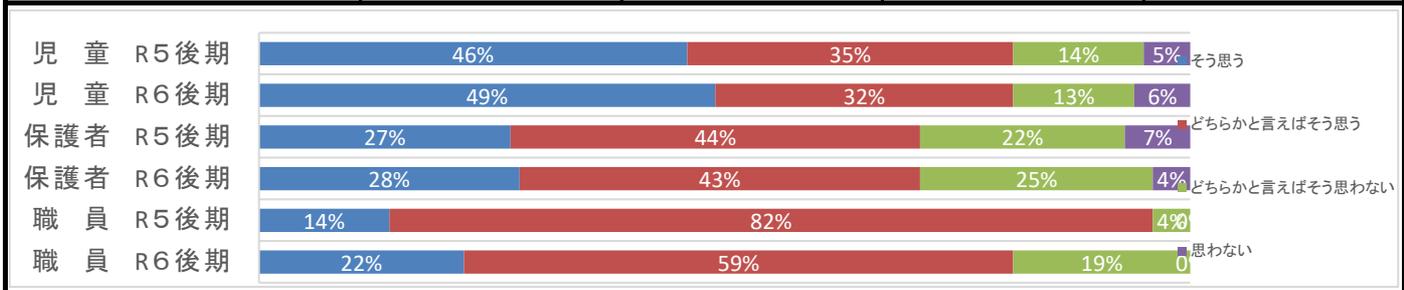
⑤【保護者】【教職員】子供は、読書を楽しんでいる。
 【児童】読書は楽しい。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	思わない
児童 R5後期	61%	23%	11%	5%
児童 R6後期	57%	24%	12%	7%
保護者 R5後期	27%	29%	30%	14%
保護者 R6後期	25%	34%	28%	13%
職員 R5後期	32%	59%	9%	0%
職員 R6後期	15%	67%	15%	3%



⑥【保護者】【教職員】子供は、家での学習を頑張っている。
 【児童】家での学習を工夫して頑張っている。

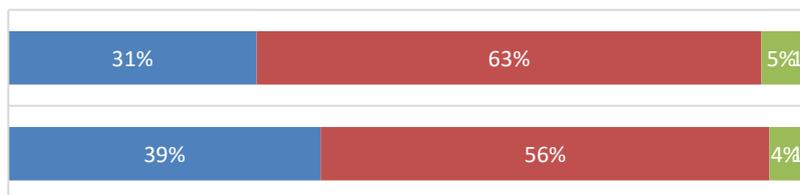
	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	思わない
児童 R5後期	46%	35%	14%	5%
児童 R6後期	49%	32%	13%	6%
保護者 R5後期	27%	44%	22%	7%
保護者 R6後期	28%	43%	25%	4%
職員 R5後期	14%	82%	4%	0%
職員 R6後期	22%	59%	19%	0%



⑦【保護者】鷹岡小は、安心して子供を任せられる学校であると思いますか。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	思わない
保護者 R5後期	31%	63%	5%	1%
保護者 R6後期	39%	56%	4%	1%

保護者 R5後期



保護者 R6後期

〈考察〉

設問①「学校は楽しい（子供は、学校は楽しいと思っている）」について、昨年度と同様、90%近くの児童が肯定的な回答（そう思う・どちらかと言えばそう思う）をしていることが分かりました。保護者・教職員の回答も90%以上の高い数値となり、子供たちが学校生活を楽しんでいることが3者ともに実感できていることが分かります。関連して、設問⑦「鷹岡小は、安心して子供を任せられる学校である。」についても、保護者の皆様から95%の肯定的な回答があり、高い評価をいただいています。子供たちが元気に登校し、学校での生活を楽しみにしてくれていることが教職員にとって、最もうれしいことです。今後も、鷹岡小学校に通うすべての子供が楽しいと感じられる学校を目指して取り組んでいきます。

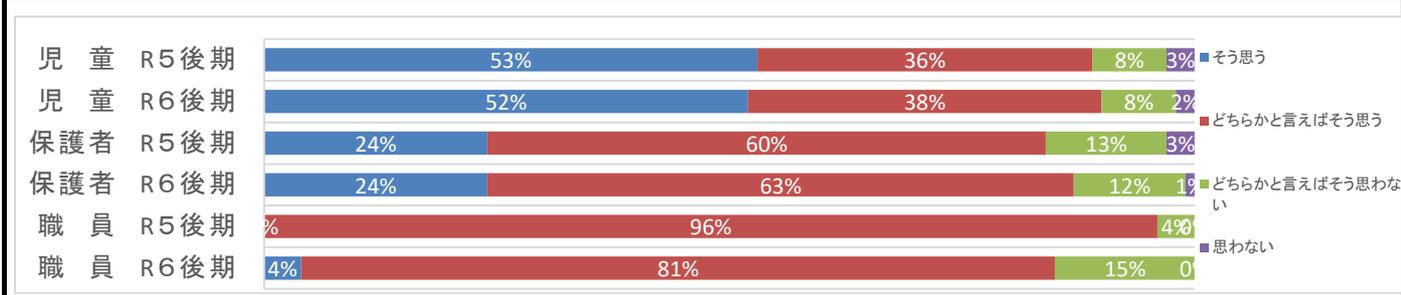
また、近年、本校の課題として捉えられていた設問②「自分には、よいところがある」の児童の回答についても、今年度は児童の肯定的な回答が81%となり、昨年の数値を5%上回りました。昨年度も一昨年度より上昇が見られましたが、今年度は更に数値を向上させることができました。子供たちが、自分のよさを認識し、前向きに生活することができるようになってきている表れだと思います。重点目標「自分を、仲間を大切にする子」の実現に向けて、子供たちのよさを認め、自分のよさに気付けるようにする取組も継続してきましたが、それらの成果が数値となって表れてきていることをうれしく感じます。今後も、引き続き一人一人が輝き、支え合っていける居場所づくりに取り組んでいきたいと思ひます。ご家庭でも、温かな声掛けをお願いいたします。

さらには、設問④の「友達の気持ちを聞いたり、優しく言葉を掛けたりすることができる」についても、児童の肯定的な回答が90%と大台に乗りました。友達を大切にしようと思ひ掛けたり、困っている友達を助けようと思ひ掛けたりしている子供たちが多いのだと思ひます。その一方、教員によるこの項目の評価は昨年度より10%ほど下がっている現状も見られました。子供の思いと教員が求めるものに差異があるのかもしれない。今後も、丁寧に子供たちに話をし、友達や周りの人たちに対する優しさとはどのようなものなのか、子供たちがしっかりと理解できるようにしていきます。

2 学習面について

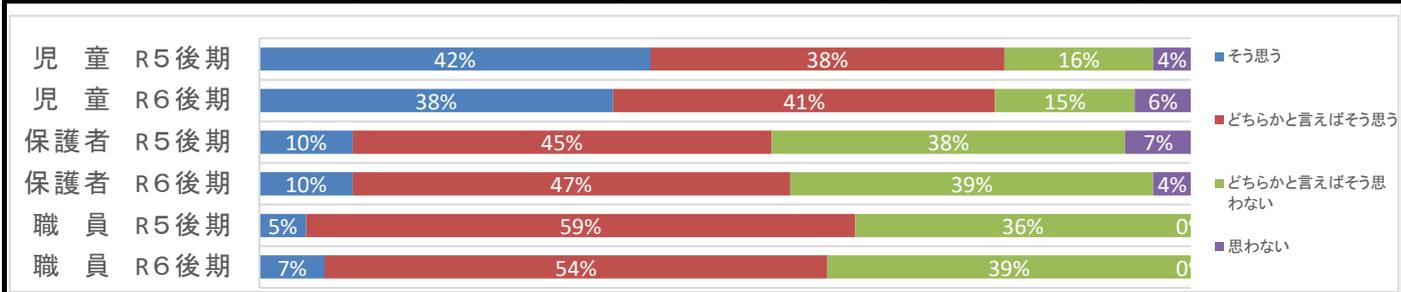
⑧【保護者】【教職員】子供は、授業で学習したことが分かっている。
【児童】授業で学習したことが分かる。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	思わない
児童 R5後期	53%	36%	8%	3%
児童 R6後期	52%	38%	8%	2%
保護者 R5後期	24%	60%	13%	3%
保護者 R6後期	24%	63%	12%	1%
職員 R5後期	0%	96%	4%	0%
職員 R6後期	4%	81%	15%	0%



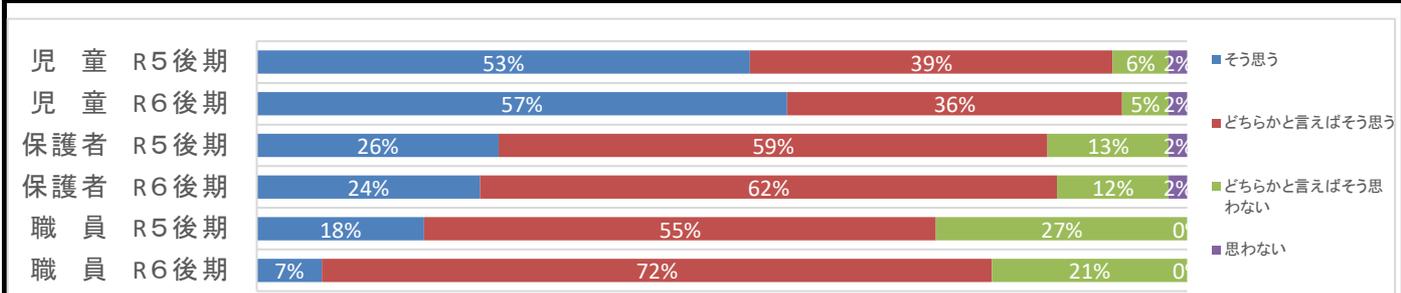
⑨【保護者】【教職員】子供は、自ら問題を見付け、工夫して粘り強く解決しようとしている。
【児童】授業では自分で見付けた「はてな」をじっくり考えている。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	思わない
児童 R5後期	42%	38%	16%	4%
児童 R6後期	38%	41%	15%	6%
保護者 R5後期	10%	45%	38%	7%
保護者 R6後期	10%	47%	39%	4%
職員 R5後期	5%	59%	36%	0%
職員 R6後期	7%	54%	39%	0%



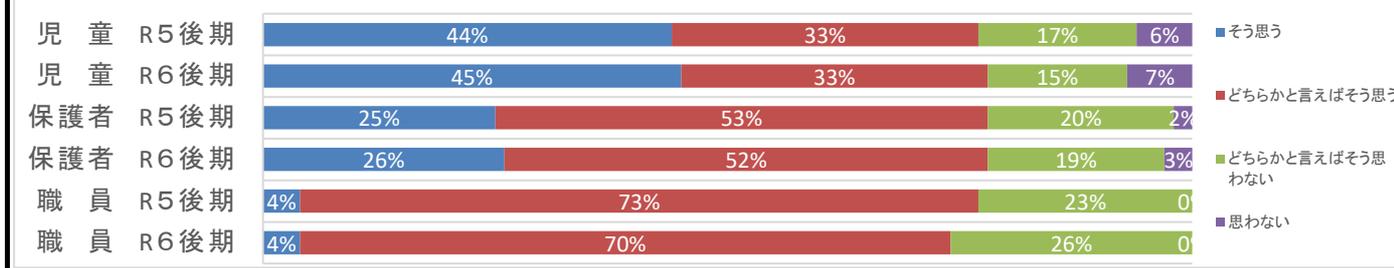
⑩【保護者】【教職員】子供は、相手の話をじっくり聴くことができる。
【児童】友達や先生の話に心を傾けて聴いている。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	思わない
児童 R5後期	53%	39%	6%	2%
児童 R6後期	57%	36%	5%	2%
保護者 R5後期	26%	59%	13%	2%
保護者 R6後期	24%	62%	12%	2%
職員 R5後期	18%	55%	27%	0%
職員 R6後期	7%	72%	21%	0%



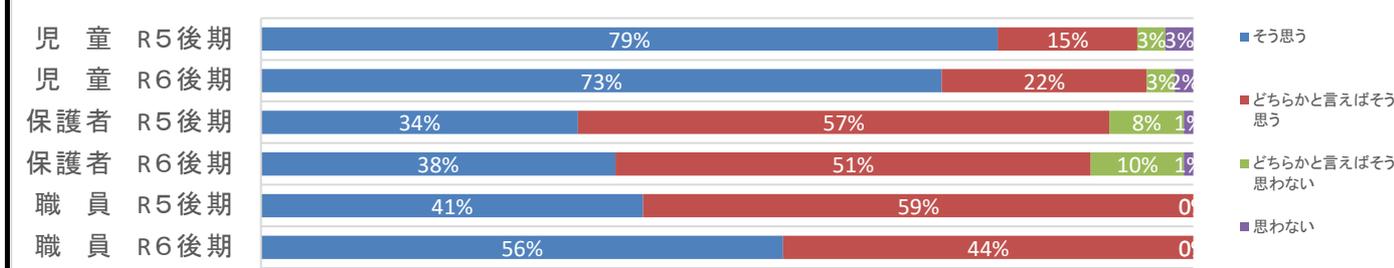
⑪【保護者】【教職員】子供は、自分の考えを伝えることができる。
 【児童】自分の考えを友達や先生に伝えられる。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	思わない
児童 R5後期	44%	33%	17%	6%
児童 R6後期	45%	33%	15%	7%
保護者 R5後期	25%	53%	20%	2%
保護者 R6後期	26%	52%	19%	3%
職員 R5後期	4%	73%	23%	0%
職員 R6後期	4%	70%	26%	0%



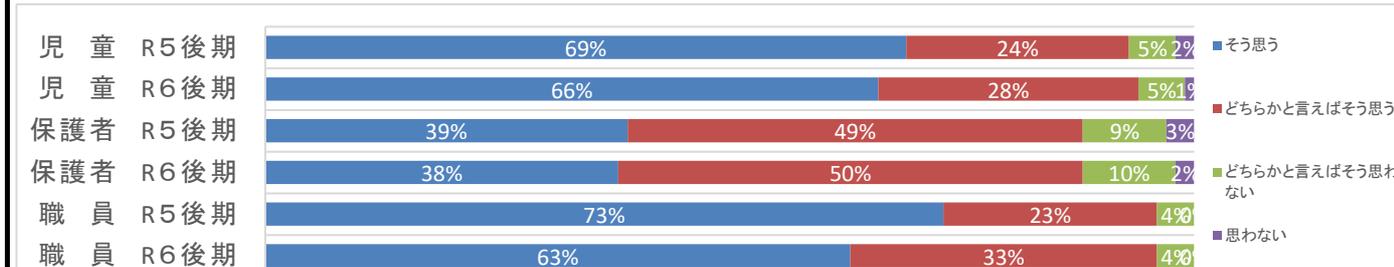
⑫【保護者】【教職員】子供は、友達との学習を楽しんでいる。
 【児童】友達といっしょに勉強することは楽しい。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	思わない
児童 R5後期	79%	15%	3%	3%
児童 R6後期	73%	22%	3%	2%
保護者 R5後期	34%	57%	8%	1%
保護者 R6後期	38%	51%	10%	1%
職員 R5後期	41%	59%	0%	0%
職員 R6後期	56%	44%	0%	0%



⑬【保護者】【職員】子供は、授業中、パソコンやプロジェクターを使ったり、カメラ機能を使ったりして学習している。
 【児童】授業中、パソコンやプロジェクターを使ったり、カメラ機能を使ったりして学習している。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	思わない
児童 R5後期	69%	24%	5%	2%
児童 R6後期	66%	28%	5%	1%
保護者 R5後期	39%	49%	9%	3%
保護者 R6後期	38%	50%	10%	2%
職員 R5後期	73%	23%	4%	0%
職員 R6後期	63%	33%	4%	0%



〈考 察〉

設問⑧の「授業で学習したことが分かっている」では、児童の肯定的な回答（そう思う・どちらかと言えばそう思う）が今年度は90%となりました。保護者の肯定的な回答も87%と高い数値になっています。今年度、本校では、「「できた」「分かった」を実感できる子」を目指して授業改善を進めてきました。その中で、授業の進め方、見通しをもった指導、子供が学びたくなる教材や題材の準備、ICTの効果的な使い方等について研修を重ねてきました。これらの成果が、今回の子供たちの評価の高さにつながっているのならうれしく感じます。一方、この設問における職員の今年度の肯定的な評価は昨年度より10%ほど下がっています。この現状もしっかりと踏まえながら、今後もどの子も「できた」「分かった」と感じられるよりよい授業の実現を目指して励んでいきます。

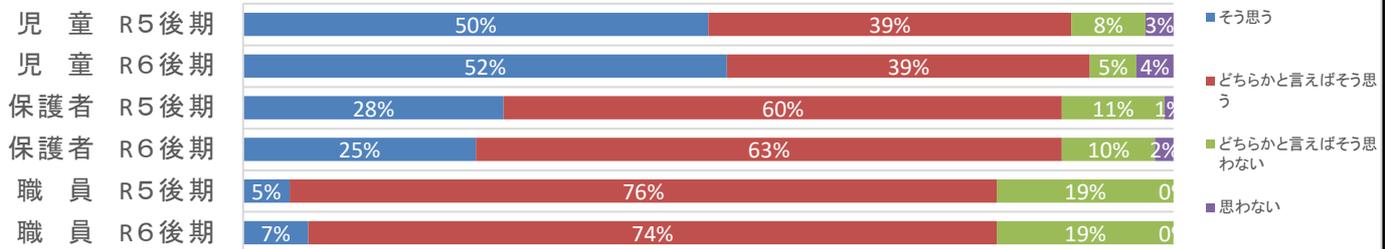
設問⑩の「友達や先生の話に心を傾けて聴いている」においては、児童・保護者・職員の3者において肯定的な回答が昨年度の数値を上回りました。授業や特別活動など、いろいろな場面で子供たちに友達や先生たちの話をしっかり聞こうという意識が高まっていることは大変よいことです。引き続き、ただ聞くだけではなく、しっかりと気持ちを向けて聴くことができる姿を目指して支援していきたいと思います。

また、設問⑬「授業中、パソコンやプロジェクターを使ったり、カメラ機能を使ったりしている」においては、今年度も児童の肯定的な回答の割合が上がって90%以上の高い水準を維持しています。もう子供たちにとって、GIGAタブレットやプロジェクターなどのICT機器を活用した授業が当たり前のようになっていることが見て取れます。今後も、授業の中でICT機器を有効に活用して、分かりやすい授業の実現に努めていきます。

3 学校教育活動について

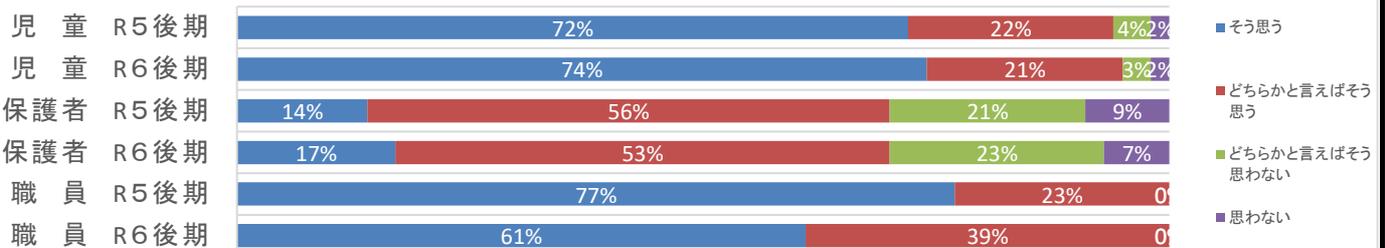
⑭【保護者】【教職員】子供は、「自分を、仲間を大切にする子」を意識して生活している。
【児童】「自分を、仲間を大切にする子」を意識して生活している。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	思わない
児童 R5後期	50%	39%	8%	3%
児童 R6後期	52%	39%	5%	4%
保護者 R5後期	28%	60%	11%	1%
保護者 R6後期	25%	63%	10%	2%
職員 R5後期	5%	76%	19%	0%
職員 R6後期	7%	74%	19%	0%



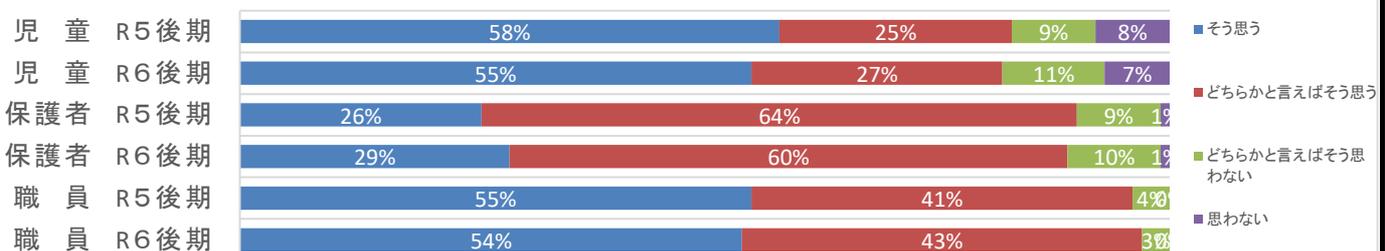
⑮【保護者】【教職員】学校は、子供の悩みや相談に親身になって応じている。
【児童】先生は、困っていることや、悩んでいることをしっかりきいてくれる。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	思わない
児童 R5後期	72%	22%	4%	2%
児童 R6後期	74%	21%	3%	2%
保護者 R5後期	14%	56%	21%	9%
保護者 R6後期	17%	53%	23%	7%
職員 R5後期	77%	23%	0%	0%
職員 R6後期	61%	39%	0%	0%



⑯【保護者】【教職員】お便りや担任からの連絡、学校行事への参加等により学校の様子がよく分かる。
【児童】学校のことを、家でよく話す。

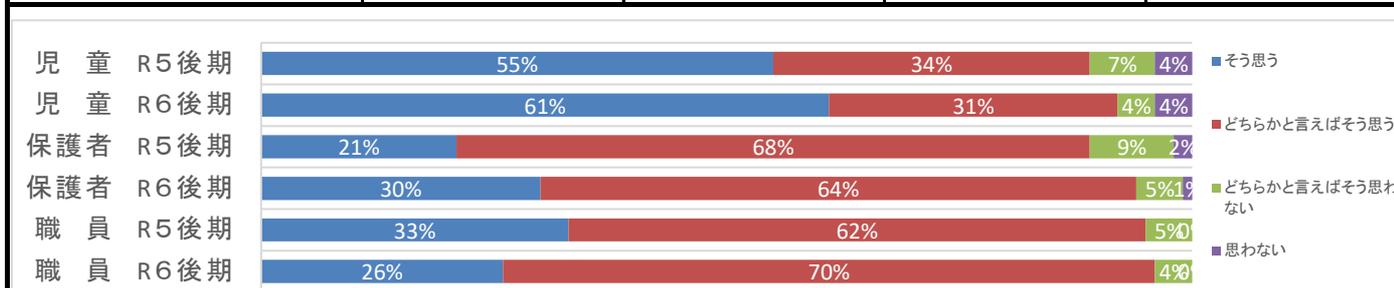
	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	思わない
児童 R5後期	58%	25%	9%	8%
児童 R6後期	55%	27%	11%	7%
保護者 R5後期	26%	64%	9%	1%
保護者 R6後期	29%	60%	10%	1%
職員 R5後期	55%	41%	4%	0%
職員 R6後期	54%	43%	3%	0%



⑰【保護者】【教職員】学校行事はねらいがはっきりしていて、特色ある行事となっている。

【児童】いろいろな行事に向かって、目標をもって頑張っている。

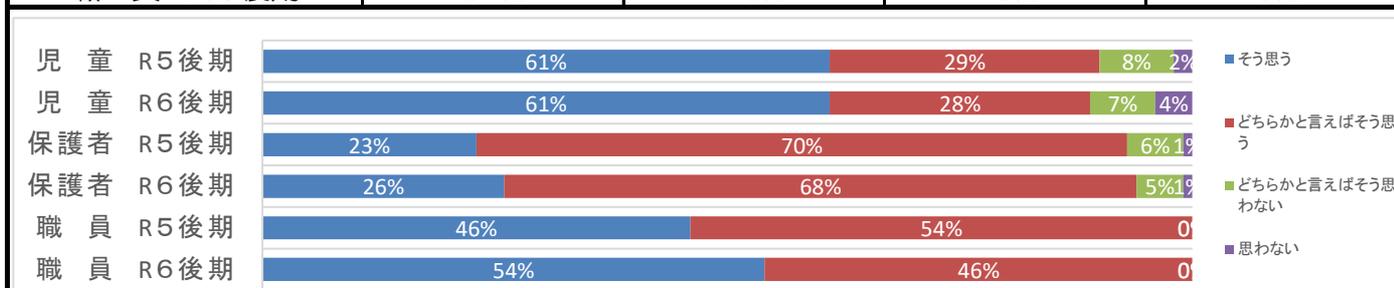
	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	思わない
児童 R5後期	55%	34%	7%	4%
児童 R6後期	61%	31%	4%	4%
保護者 R5後期	21%	68%	9%	2%
保護者 R6後期	30%	64%	5%	1%
職員 R5後期	33%	62%	5%	0%
職員 R6後期	26%	70%	4%	0%



⑱【保護者】【教職員】学校の施設、設備は安全で、整備されている。

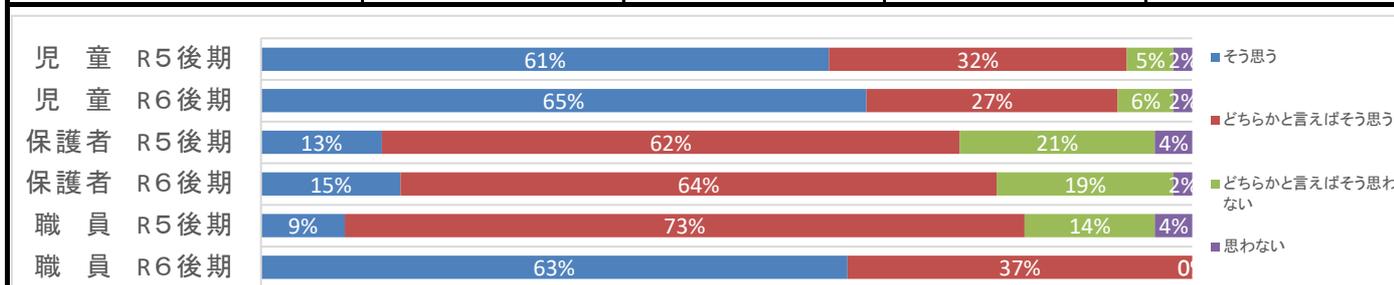
【児童】学校は、安全・安心に過ごすことができる。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	思わない
児童 R5後期	61%	29%	8%	2%
児童 R6後期	61%	28%	7%	4%
保護者 R5後期	23%	70%	6%	1%
保護者 R6後期	26%	68%	5%	1%
職員 R5後期	46%	54%	0%	0%
職員 R6後期	54%	46%	0%	0%



⑩【保護者】【教職員】子供は、緊急時に自分の命を守るために適切な行動をとることができる。
 【児童】緊急時に自分の命を守るために考えて行動することができる。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	思わない
児童 R5後期	61%	32%	5%	2%
児童 R6後期	65%	27%	6%	2%
保護者 R5後期	13%	62%	21%	4%
保護者 R6後期	15%	64%	19%	2%
職員 R5後期	9%	73%	14%	4%
職員 R6後期	63%	37%	0%	0%



〈考察〉

設問⑭「自分を、仲間を大切にしている」を意識して生活している」は、今年度の本校の重点目標について聞いた設問でした。昨年度より取り組んできたこの重点目標は、学校目標とともに各クラスに掲示され子供たちの意識もかなり高まってきました。数値的にも肯定的な回答が90%を超えました。「仲間を大切にだけでなく、自分自身も大切にできる子供に育ててほしい」という教職員の思いが少しずつ伝わってきている感触があります。ただ、まだ友達に意地悪な声掛けをしたり、自分自身に投げやりになってしまったりする姿が時々見られます。「大切にしている」とはどのようなことなのか今後も子供たちに具体的に伝えていく作業を続けてまいります。

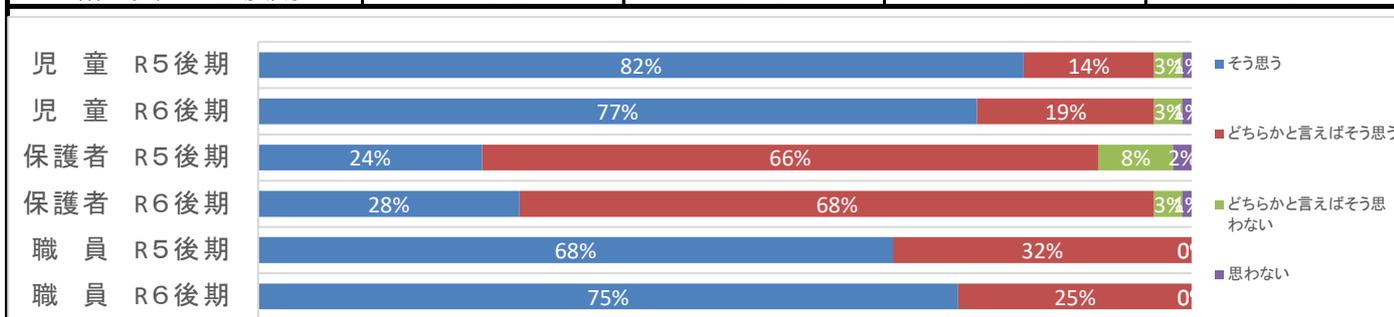
設問⑮「先生は、困っていることや、悩んでいることをしっかりきいてくれる」では、児童の肯定的な言回答が95%と高い値になりました。子供たちが、学校生活の中で困った時や悩みが出たときに私たちはすぐに頼れる教員集団でありたいと思います。今後も、子供たちに信頼され、何でも気軽に相談することのできる先生でいられるよう心掛けていきます。

問⑰「学校は、特色ある行事となっている」においては、児童・保護者・職員の3者で昨年度に比べて数値を上げました。運動会での種目の内容を工夫したり、松風まつりでは子供たちが各クラスで創意あふれるお店を出したり、授業参観でもコロナ禍から脱して人数制限なしで実施できたことがそれらの要因かと思われます。今年度、様々な行事等を通して、生き生きと頑張る子供の姿をご覧いただけたことと思います。今後も、一人一人の子供たちが楽しみ、活躍できる行事を計画していきます。

4 コミュニティスクール、小中一貫について

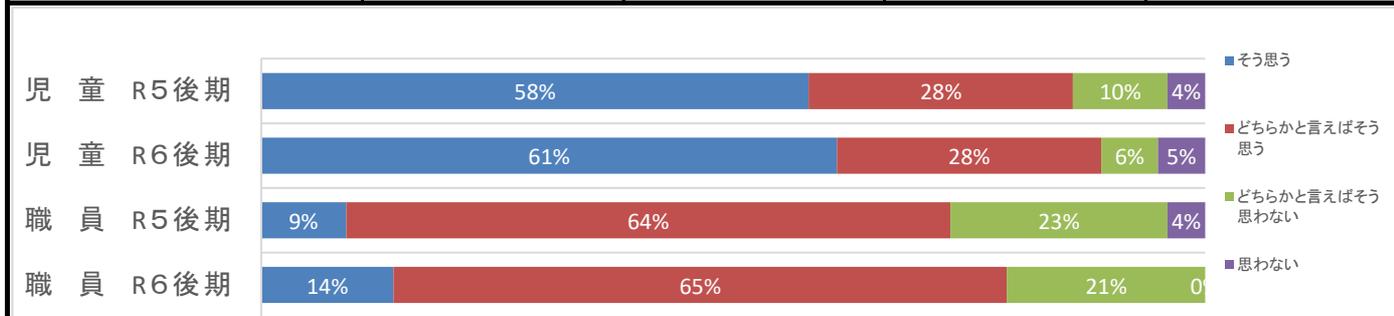
⑳地域の皆様や団体の方が子供たちや学校の教育活動に関わることは【保護者】【教職員】子供たちにとって良い効果が表れていると思いますか。
【児童】あなたにとってよいことですか。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	思わない
児童 R5後期	82%	14%	3%	1%
児童 R6後期	77%	19%	3%	1%
保護者 R5後期	24%	66%	8%	2%
保護者 R6後期	28%	68%	3%	1%
職員 R5後期	68%	32%	0%	0%
職員 R6後期	75%	25%	0%	0%



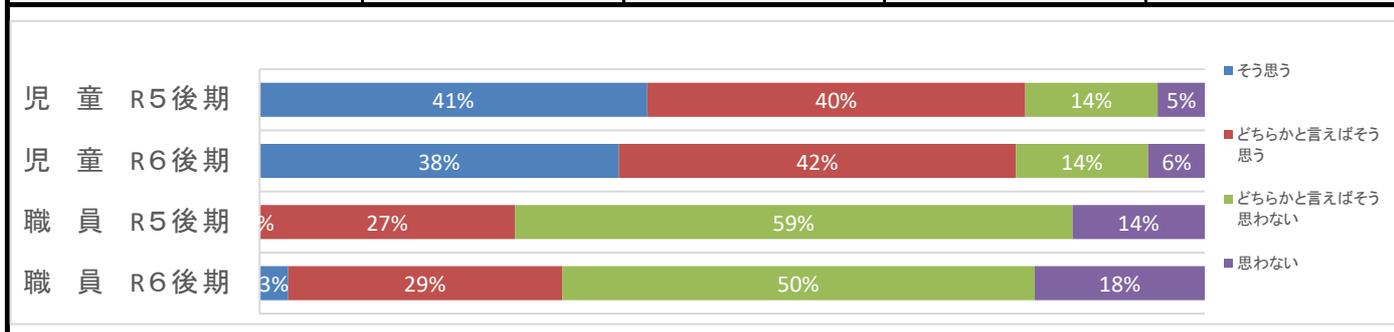
㉑【教職員】子供は、明るい挨拶ができています。
【児童】明るい挨拶ができています。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	思わない
児童 R5後期	58%	28%	10%	4%
児童 R6後期	61%	28%	6%	5%
職員 R5後期	9%	64%	23%	4%
職員 R6後期	14%	65%	21%	0%



㉒【教職員】子供は、きれいな学校に向けて黙動清掃ができています。
【児童】きれいな学校に向けて、だまってそうじができています。

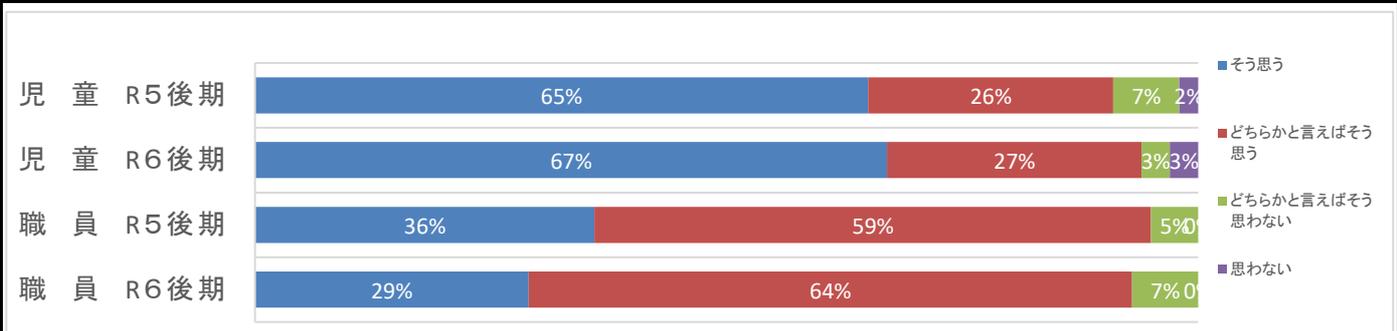
	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	思わない
児童 R5後期	41%	40%	14%	5%
児童 R6後期	38%	42%	14%	6%
職員 R5後期	0%	27%	59%	14%
職員 R6後期	3%	29%	50%	18%



⑳【教職員】子供は、相手の気持ちを考えた言動をとったり、学級の仲間と楽しく過ごしたりと絆を深めることができている。

【児童】友達の気持ちを考えたり、クラスの友達と楽しく過ごしたりと絆を深めることができている。

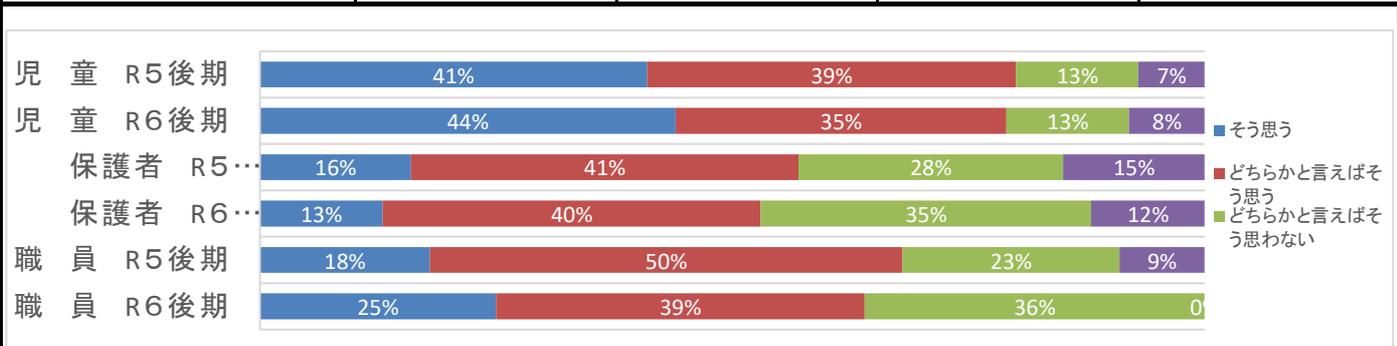
	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	思わない
児童 R5後期	65%	26%	7%	2%
児童 R6後期	67%	27%	3%	3%
職員 R5後期	36%	59%	5%	0%
職員 R6後期	29%	64%	7%	0%



㉑【保護者】【職員】三校（鷹小・天間小・鷹岡中）合同で取り組んでいるエンジョイストップメディアキャンペーン（ノーメディアウィーク）は有効だった。

【児童】エンジョイストップメディアキャンペーン（ノーメディアウィーク）に頑張っており取り組めた。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	思わない
児童 R5後期	41%	39%	13%	7%
児童 R6後期	44%	35%	13%	8%
保護者 R5後期	16%	41%	28%	15%
保護者 R6後期	13%	40%	35%	12%
職員 R5後期	18%	50%	23%	9%
職員 R6後期	25%	39%	36%	0%



〈考察〉

CS（コミュニティスクール）は、今年度6年目となります。今年度も、地域の方々の支えによって、子供たちが元気によりよい学校生活を送ることができています。登下校の見守り、読み聞かせ、校外学習のサポート、授業におけるサポート等、協力していただいた皆様、本当にありがとうございました。設問㉑「地域の方々が子供たちや学校の教育活動に関わることはあなたにとってよいことですか」の児童の回答からも、子供たちが地域の方々へ感謝の気持ちをもっていることが分かります。今後も、CSディレクターを中心に「地域とともにある学校」をつくっていきたくと考えています。今後ご協力をよろしくお願いいたします。

令和6年度は、小中一貫校の本格実施の1年目でした。学校教育目標も鷹岡中・天間小と3校でそろえ「自ら学ぶ子」とし、鷹岡中学区で目指すべき子供たちの姿を共有しました。また、小中一貫教育の一環として、今年度は鷹岡中・天間小とともに3校で「あいさつ運動」に取り組んできました。中学生が小学校の校門のところに来て一緒にあいさつ運動を実施したり、3校合同のあいさつ集会を行ったりしました。それ以外にも、子供たちの健全な心身の発達を願い3校合同で「エンジョイストップメディアキャンペーン」実施したり、3校で目指す子供像を共有しその実現のためにどのような授業を実施していくかを3校の教員で研修したりしてきました。設問㉑にある「明るい挨拶ができている」では、児童・職員共に昨年度を上回る結果となっており、学校内や学校外においても、子供たちのあいさつへの意識が高まり元気なあいさつができるようになってきていると感じています。今後も、中学校区においていろいろな場面で連携し、よりよい鷹岡中学校区の子供の育成を進めていきます。

5 保護者の皆様からのご意見、ご質問、ご要望について

欠席連絡をマチコミ（スマホ）からもできるようにしてほしい。

これまで、欠席等の連絡は保護者の方に連絡帳に記入していただいたり、朝、学校の職員と保護者の方が直接話をして子供たちの健康状態を確認するといった双方向のやりとりの大切さを重視しておりました。今回の保護者アンケートの中で「マチコミアプリを使用した欠席等の連絡を導入してほしい」との意見が多く寄せられました。それらを踏まえ校内で検討を重ね、来年度からマチコミでの欠席連絡の導入を行っていくことにしました。それに先立って、今年度の2月17日から3月19日の間は、テスト運用期間とします。ただ、学校としてはアプリのみの連絡手段に頼るのではなく保護者の方との直接のやり取りも大切だと考えておりますので、お子様の健康状態等において気になることは電話等の連絡も行わせていただければ、と考えています。

ニュースで見たのですが、教科担任制はいいと思いました。クラスごと授業の進み方や内容が違っていると、子供が不安になるのもそうですが、何より先生が、専門教科の授業の進め方が上手くなるというメリットがあるようです。とても効率的だと思いました。

鷹岡小学校においても、主に高学年（5・6年生）において、教科担任制を実施しております。教科を挙げると、「外国語」「音楽」「体育」「社会」「理科」「家庭科」などがあります。これらの教科では、一人の教師が学年の同じ教科の授業を受け持つので、進度がそろいやすかったり、クラスによる定着度が把握しやすかったりと、メリットが多くあります。また、多くの教員がクラスに出入りするため多くの教員の目で子供たちの悩みや問題点などを見取って共有することもできます。教科担任制は、子供たちからも好評です。一方、低学年においては、発達段階的にまだまだ担任によるきめ細かい指導が必要な場合が多いため、教科担任を採用する教科は多くなりません。来年度も、子供たちの状況を見極めつつ、いろいろな教科において教科担任制の授業を実施していきたいと思っております。

運動会での徒競走などの競う競技がなくなってしまったの残念です。順位を付けない、優劣を付けないなどの世の中ですが、負けて悔しい思いをしたり、達成感を得たりすることも大切だと思います。

運動会の種目のもち方についてのご意見、ありがとうございます。今年度は、「集団演技を見たい」との保護者の皆様からの声もあり、学年団によるダンス等の集団演技を採用しました。そして、運動会後「大変よかった」「かわいかった」との感想も多くいただきました。今年度実施しなかった徒競走も、子供たちにとって大変教育的効果の高い種目であると本校でも捉えております。来年度、どのような種目構成になるのかは今後検討してまいります。実施する種目については運動会の開催時期や子供たちの状態等、様々なことを鑑みて決めてまいります。どのような種目を行うにしても、運動会が終わった後に子供たち自身が「頑張った」「楽しかった」「仲間とのきずなを深められた」といった思いをもてるよう学校として計画していきたいと思っております。

学校生活にパソコンを取り入れて学習してくれているのはすごい伝わるしよいと思っております。保護者の説明会や懇談会、面談などにも取り入れてもらえる働く親にとってはとても助かります。仕事を休んで参加しなくても、リモートで出ることがたくさんあると思っております。先生方の働き方改革が進むように、働く保護者にも優しいといいです。

ご意見ありがとうございます。アンケートの結果にもあったように、1人1台GIGAタブレットの導入によって、この数年間で学校における子供たちのパソコンの使用頻度は著しく高まり、その活用能力も著しく伸長しています。そのタブレットを使用している保護者への各行事等の説明会や懇談会を行うことの有効性は学校としても理解しているところです。仕事や育児等で忙しい保護者の皆様の貴重なお時間を少しでも有効に使っていただくためにも、パソコンを使っての説明会や懇談会の開催については今後検討してまいります。また、直接来校していただく手間や負担を軽減するため、来校いただかなくても伝わるものについては、それ以外の方法でお伝えすることも考えています。ただ、教員と保護者の皆様が直接顔を合わせて子供のことを語ったり学校の思いを伝えたりすることの大切さもありますので、その時その時のいろいろな状況を踏まえた上での判断とさせていただきます。

この他にもたくさんのご意見やご要望をいただきました。全職員で共有し、今後の教育活動に生かしていきます。ありがとうございました。